

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 055	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 シクラメンにおける灰色かび病の薬剤抵抗性調査	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 川崎市には、シクラメン栽培農家が10戸あり、直売を主体にした経営が行われている。 真夏を除いた梅雨期から出荷期に灰色かび病が発生するために、薬剤防除を行なっているが、薬剤の防除効果が上がらず、灰色かび病の発生により販売ができないものがある。 栽培農家からは、防除効果の高い薬剤が求められている。そのため、花き類登録されている農薬の、川崎市内における灰色かび病菌薬剤抵抗性を調査してもらいたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部病害虫研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 灰色かび病菌に対して花き類で登録がある薬剤は、予防剤が多く、発病してからは病害の進展を止めることが難しいのが現状です。このため、発病前からのボトキラー水和剤のダクト内投入や予防剤のローテーション防除が必要です。 灰色かび病菌は多犯性であり、病原菌の分離も比較的容易であることから、病害虫防除部がトマトを中心に薬剤に対する耐性菌検定を実施しています。本件についても病害虫防除部との連携も含めて調査指導対応とさせていただきます。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			